

ナナメディアプロジェクト

ナナメディアプロジェクト ～商店街留学の拠点～

事業目的・概要

京都の大学生を中心に、梅小路西側の商店街の各店舗と連携したメディア制作及びワークショップを実施する。若者が商店街を自分ごととして捉え、実践的に地域と関わり学ぶ機会の創出を目指す。また、翌年度以降『商店街留学』として若者が一定期間商店街に滞在・参画し、地域の魅力や課題を実地で学び、商店街の活性化に資するような新たな仕組みを構築する。

今後の予定・次年度以降の事業展開

来年度は、店じまいする方が増えている現在の商店街で、店主の方々と相談しながら、今後何を残していくべきなのかなどを見直していく予定である。例えば、市場があるからこそその昔ながらの文化を文章に残していこうと考えている。以上の取り組みを踏まえて、申請時に計画していた『商店街留学プロジェクト』を再度組み直す。

事業成果

商店街の真裏にある空き家を拠点に、①子どもたちと一緒に空き家の空間をデザインする『七条空想プレイハウス』、②商店街で働く人々の日常を体験する『セブンライブ』などを実施。①では、子どもたちに身近に芸術を感じてもらうだけでなく、共に空間をすることで、第三の居場所の創出にもなっている。②においては昔ながらの商店街の暮らしを若者に発信し、廃れつつある現在の暮らしを保存していく役割を担っている。

具体的な課題やつながりたい団体イメージ

空き家に関して、どうすれば活用できるのか専門家の方の意見を聞きたい。

